

品質管理

(プロジェクト管理～論理検査)

この項目では、プロジェクトの登録方法や 3D 都市モデルデータのアップロード、並びにアップロードしたデータの論理検査の方法などについて説明しています。

目 次

1. プロジェクトを登録する	2
1-1 プロジェクトの管理画面	2
1-2 プロジェクトの登録	3
2. 3D 都市モデルデータのアップロード	5
3. 属性項目の設定	9
4. データセットの更新	13
5. 論理検査	14
【資料】 検査結果内容について	17

1. プロジェクトを登録する

1-1 プロジェクトの管理画面

3D 都市モデルの検査をするためには、データをプロジェクトに登録する必要があります。サイトの左側にあるカテゴリーの「品質管理（3D 都市モデル検証）」をクリックし、表示された画面で「プロジェクト一覧」をクリックします。



プロジェクト一覧ページが表示されます。このページでは、登録したプロジェクトが一覧で表示され、プロジェクトに属するデータセットの登録、検査などの操作をします。



1-2 プロジェクトの登録

プロジェクトを登録するには、まず「新規登録」ボタンをクリックします。



新規登録ページが表示されます。「プロジェクト名」の欄にプロジェクト名を入力し、「登録内容を確認」ボタンをクリックします。ここでは、プロジェクト名に「A 市」と入力しています。

新規登録

プロジェクトID

プロジェクト名

A市

登録内容を確認 プロジェクト一覧に戻る

登録確認画面が表示されます。プロジェクト名を確認して、「登録を確定」ボタンをクリックします。

登録内容を確認

プロジェクトID	
プロジェクト名	A市

[登録を確定](#) [登録画面に戻る](#) [プロジェクト一覧に戻る](#)

登録完了画面が表示され、プロジェクトの登録が完了します。「プロジェクト一覧に戻る」ボタンをクリックします。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー

ユーザーガイド

データセット管理
（データ入力支援）

品質管理（3D都市
モデル検証）

オープンデータ化支
援

マップ管理（閲覧支
援）

登録完了

[プロジェクト一覧に戻る](#)

プロジェクト一覧ページに戻ると、先ほど登録したプロジェクトが表示されます。これで、プロジェクトの登録は完了です。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー
ユーザーガイド
データセット管理
（データ入力支援）
品質管理（3D都市
モデル検証）
オープンデータ化支
援
マップ管理（閲覧支
援）

プロジェクト一覧

新規登録

プロジェクト ID	プロジェクト名	詳細	データセット	論理検査	目視検査	削除
1	A市	詳細	データセット	論理検査	目視検査	削除

「A市」のプロジェクトが追加されています。

2. 3D 都市モデルデータのアップロード

作成したプロジェクトに 3D 都市モデルデータをアップロードするには、プロジェクト一覧ページの「データセット」ボタンをクリックします。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー
ユーザーガイド
データセット管理
（データ入力支援）
品質管理（3D都市
モデル検証）
オープンデータ化支
援
マップ管理（閲覧支
援）

プロジェクト一覧

新規登録

プロジェクト ID	プロジェクト名	詳細	データセット	論理検査	目視検査	削除
1	A市	詳細	データセット	論理検査	目視検査	削除

プロジェクトのデータセット一覧画面が表示されます。「登録（ファイルアップロード）」ボタンをクリックします。

プロジェクトのデータセット一覧

プロジェクトID	1
プロジェクト名	A市

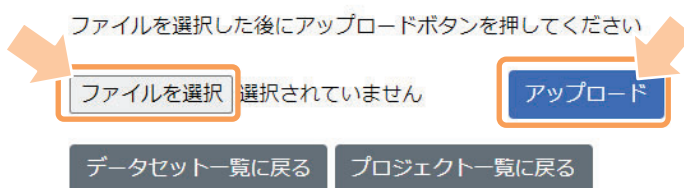
地物	データセット 番号	データセット名
<div><div>登録(ファイルアップロード)</div><div>データセットの編集</div><div>プロジェクト一覧に戻る</div></div>		

「ファイルの選択」ボタンをクリックしてアップロードしたいファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックします。なお、アップロードするファイルは、製品仕様書に記載されているファイル命名規則、及びファイル構成に従って作成された zip ファイル形式としてください。

登録(ファイルアップロード)

製品仕様書に記載されているファイル命名規則、及びファイル構成に従って作成されたzipファイルをアップロードします。

ファイルを選択した後にアップロードボタンを押してください



【ファイル命名規則とファイル構成】

7.2.3 ファイル名称

ファイル名称（拡張子を除いた部分）は、[メッシュコード]_[地物型]_[CRS]_[オプション]とする。

表 7-3 ファイル名の構成要素

ファイル名称の構成要素	説明	使用可能な文字
[メッシュコード]	ファイル単位となる地域メッシュのメッシュコード	半角数字
[地物型]	格納された地物の種類を示す接頭辞	半角英数字
[CRS]	格納された地物に適用される空間参照系	半角数字
[オプション]	必要に応じてファイルを細分したい場合の識別子（オプション）	半角英数字。区切り文字を使用したい場合は半角のハイフンのみ。
-	ファイル名称の構成要素同士の区切り文字	ファイル名称の構成要素同士を区切る場合には、アンダースコア（_）のみを用いる。ファイル名称の構成要素の中を区切る場合は、ハイフン（-）を用いる。いずれも半角とする。

[メッシュコード]は、ファイルの単位に対応する地域メッシュのコードとする。ファイルを分割した場合は、最も若い（左下）のメッシュコードを付与する。

[地物型]にはファイルに含まれるモジュール（又は地物型）を識別する接頭辞（表 7-4）を付与する。

表 7-4 接頭辞

地物型	接頭辞
建築物、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面、開口部	bldg
道路	tran
都市計画決定情報	urf
土地利用	luse
洪水浸水想定区域	fld
津波浸水想定	tnm
土砂災害警戒区域	lsld
高潮浸水想定区域	htd
内水浸水想定区域	ifld
都市設備	frn
植生	veg
起伏	dem

[CRS]には、当該ファイルに含まれるオブジェクトの空間参照系の略称（半角数字）として EPSG コード（<https://epsg.org/home.html>）を入力する。EPSG コードは、空間参照系に与えられた固有の識別子である。

標準製品仕様書で使用する空間参照系の略称を下表に示す。

原典：3D 都市モデル技術文書

【ファイル命名規則とファイル構成】

表 7-5 空間参照系の略称

オブジェクトに適用される空間参照系	略称
日本測地系 2011 における経緯度座標系と東京湾平均海面を基準とする標高の複合座標参照系	6697
日本測地系 2011 における経緯度座標系	6668

なお、高さ方向の座標値として仮想的な高さである 0 が入力された 3D 都市モデルのファイルには、[CRS]に 6668 を適用する。

[オプション]は、メッシュ単位及び地物型単位となるファイルをさらに分割したい場合に使用する。使用しない場合は区切り文字と共に省略する。

[オプション]を使用する場合は、オプションの文字列、適用するフォルダの名称、オプションの意味の一覧を作成する。

表 オプションに使用する文字列

オプション	適用するフォルダ名	オプションの意味
l1	f1d	ファイルに含まれる洪水浸水想定区域が対象とする降雨規模が計画規模である。
l2	f1d	ファイルに含まれる洪水浸水想定区域が対象とする降雨規模が想定最大規模である。

原典：3D 都市モデル技術文書

ファイルのアップロードが完了します。これで、3D 都市モデルデータのアップロードは完了です。「データセット一覧に戻る」ボタンをクリックし、プロジェクトのデータセット一覧に戻ります。



3. 属性項目の設定

アップロードした 3D 都市モデルデータの属性項目を設定します。ここでの設定は目視検査のマップ作成に使用されます（論理検査やオープンデータ化支援では使用されません）。プロジェクトのデータセット一覧画面の「データセットの編集」ボタンをクリックします。

プロジェクトのデータセット一覧

プロジェクトID	1
プロジェクト名	A市

地物	データセット番号	データセット名
建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	2	*_bldg_4612.xml



プロジェクトのデータセットの編集画面が表示されます。「属性項目の設定」ボタンをクリックします。

プロジェクトのデータセットの編集

プロジェクトID	1
プロジェクト名	A市

地物	データセット番号	データセット名	地物名の編集	属性項目の設定	リンク削除
建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	2	*_bldg_4612.xml	地物名の編集	属性項目の設定	リンク削除

[データセット一覧に戻る](#)
[プロジェクト一覧に戻る](#)

属性項目の設定確認画面が表示されます。まずは、属性項目設定用の一覧を作成するため、タグを抽出します。タグの抽出には全てのファイルからタグを抽出方法と1ファイルからタグを抽出する方法があります。全てのファイルからタグを抽出する場合、ファイル数に応じて表示に時間がかかります。表示されているデータセットを確認して、「全てのファイルからタグを抽出」または「1ファイルからタグを抽出」ボタンをクリックします。

タグの抽出方法	抽出の内容
全てのファイルからタグを抽出	<p>対象となる全てのファイルを読み込み、タグを抽出します。 ファイル数に応じて表示に時間がかかります。 各ファイルで出現するタグが異なる場合はこちらを選択します。 ファイルが大量にある等により、制限時間内に全てのファイルを読めない場合はエラーになります。その場合はすべてのタグを記載したファイル（テンプレート）を用意し、後述する1ファイルからタグを抽出する方法を選択します。</p>
1ファイルからタグを抽出	<p>対象となるファイルのうち、1ファイルを読み込み、タグを抽出します。 1ファイルだけの読み込みのため、表示する時間は速いです。 各ファイルで出現するタグが同じ場合はこちらを選択します。 また、すべてのタグを記載したファイル（テンプレート）を用意した場合もこちらを選択します。 テンプレートはファイル内で最初に検出される必要があるため、ファイル名で並び替えたときに先頭にくるように、ファイル名のメッシュコードを000000等に設定します。</p>

属性項目の設定確認

次のデータセットについて、属性項目を設定します。

ここでの設定は目視検査で使用されます（論理検査やオープンデータ化支援では使用されません）。

まずは、属性項目設定用の一覧を作成するため、タグを抽出します。

全てのファイルからタグを抽出する場合、ファイル数に応じて表示に時間がかかります。

よろしければタグの抽出ボタンを押してください。

プロジェクトID	1
プロジェクト名	A市都市モデル
地物	建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面
データセットID	3
データセット名	*_bldg_461*.xml

[全てのファイルからタグを抽出](#)
[1ファイルからタグを抽出](#)
[データセットの編集に戻る](#)
[プロジェクト一覧に戻る](#)

属性項目の設定画面が表示されます。「フィールド名」、「型」、「桁」、「属性名称」、「単位」を設定して、「属性項目の設定内容の確認」ボタンをクリックします。

属性項目の設定

属性項目を設定してください。

地物	建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面
データセット番号	2
データセット名	*_bldg_4612.xml

タグ名称	フィールド名	型	桁	属性名称	単位	属性値（サンプル）	コード
gen:value	gen_val	VARCHAR ▾	100	都市計画区域（区分）		都市計画区域	
gen:value	gen_val2	INT ▾	100	市町村コード		220	
gen:value	gen_val3	VARCHAR ▾	100	区域区分		市街化区域	
gen:value	gen_val4	INT ▾	100	調査ID		0100	
gen:value	gen_val5	VARCHAR ▾	100	建物用途		住宅	
gen:value	gen_val6	INT ▾	100	階数（地上）		2	
gen:value	gen_val7	VARCHAR ▾	100	建物構造		木造	
gen:value	gen_val8	DOUBLE ▾	100	敷地面積（50㎡単位）		250	
gen:value	gen_val9	DOUBLE ▾	100	建築面積（50㎡単位）		0	
gen:value	gen_val10	VARCHAR ▾	100	建築年（5年単位）		2005-2009	
gen:value	gen_val11	VARCHAR ▾	100	土地利用		住宅用地	
gen:value	gen_val12	VARCHAR ▾	100	用途地域		第1種低層住宅専用地域	
bldg:lod1Solid	the_geom	GEOMETR ▾	2300	空間データ		33.8145911816497 130.551505259557 8 33.8145...	

[属性項目の設定内容の確認](#)
[データセットの編集に戻る](#)
[プロジェクト一覧に戻る](#)

設定内容の確認と登録画面が表示されます。内容を確認して、「属性項目の登録」ボタンをクリックします。内容を修正する必要がある場合は、「属性の設定に戻る」ボタンをクリックします。

属性項目の設定内容の確認と登録

次の内容で属性項目を登録します。よろしければ登録ボタンを押してください。

地物	建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面
データセット番号	2
データセット名	*_bldg_4612.xml

設定内容に問題がないか確認をします。

属性の設定内容

タグ名称	フィールド名	型	桁	属性名称	単位	属性値（サンプル）	コード
gen:value	gen_val	VARCHAR	100	都市計画区域（区分）		都市計画区域	
gen:value	gen_val2	INT	100	市町村コード		220	
gen:value	gen_val3	VARCHAR	100	区域区分		市街化区域	
gen:value	gen_val4	INT	100	調査ID		8100	
gen:value	gen_val5	VARCHAR	100	建物用途		住宅	
gen:value	gen_val6	INT	100	階数（地上）		2	
gen:value	gen_val7	VARCHAR	100	建物構造		木造	
gen:value	gen_val8	DOUBLE	100	敷地面積（50㎡単位）		250	
gen:value	gen_val9	DOUBLE	100	建築面積（50㎡単位）		0	
gen:value	gen_val10	VARCHAR	100	建築年（5年単位）		2005-2009	
gen:value	gen_val11	VARCHAR	100	土地利用		住宅用地	
gen:value	gen_val12	VARCHAR	100	用途地域		第1種低層住宅専用地域	
bldg:lod1Solid	the_geom	GEOMETRY	2300	空間データ		33.8145911816497 130.551505259557 8 33.8...	

属性項目の登録

属性の設定に戻る

プロジェクト一覧に戻る

修正が必要な場合はここをクリックしてひとつ前の画面に戻ります。

属性項目の登録画面が表示されます。これで、属性項目の登録は完了です。データセットの種類が複数ある場合は、他のデータセット（DEM、TIN は対象外）についても同様に属性項目の登録を行います。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー

ユーザーガイド
データセット管理（データ入力支援）
品質管理（3D都市モデル検証）
オープンデータ化支援
マップ管理（閲覧支援）

属性項目の登録

属性項目の登録を開始しました。
終了しました。

データセットの編集に戻る
プロジェクト一覧に戻る

4. データセットの更新

データセットを修正して、再度ファイルをアップロードする場合は、プロジェクトのデータセットの編集にて、データセットのリンク削除を行い、再度、登録（ファイルアップロード）を行ないます。プロジェクトを削除して、新規登録からやり直すと、プロジェクトに紐づく検査結果も削除されるため、データセットを更新する場合にプロジェクトを削除しないようにしてください。

データセットのリンク削除はプロジェクトのデータセットの編集画面から「リンク削除」ボタンをクリックします。

プロジェクトのデータセットの編集

プロジェクトID	3
プロジェクト名	A市都市モデル

地物	データセット番号	データセット名	地物名の編集	属性項目の設定	リンク削除
建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	83	*_bldg_6697.gml	地物名の編集	属性項目の設定	リンク削除

[データセット一覧に戻る](#)
[プロジェクト一覧に戻る](#)

プロジェクトのデータセット一覧から該当するデータセットが削除されます。

プロジェクトのデータセットの編集

プロジェクトID	3
プロジェクト名	A市都市モデル

地物	データセット番号	データセット名	地物名の編集	属性項目の設定	リンク削除
----	----------	---------	--------	---------	-------

[データセット一覧に戻る](#)
[プロジェクト一覧に戻る](#)

データセットのリンク削除では、プロジェクトとデータセットのリンクを削除しますが、データセット自体は削除されません。データセット自体を削除する場合はデータセット管理のデータセット一覧から削除します。操作方法についてはユーザーガイドのデータセットの操作をご確認ください。

5. 論理検査

登録したデータセットについて、論理検査を実施します。プロジェクト一覧画面の「論理検査」をクリックします。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー

ユーザーガイド

データセット管理
（データ入力支援）

品質管理（3D都市
モデル検証）

オープンデータ化支
援

マップ管理（閲覧支
援）

プロジェクト一覧

新規登録

プロジェクト ID	プロジェクト名	詳細	データセット	論理検査	目視検査	削除
1	A市	詳細	データセット	論理検査	目視検査	削除

論理検査画面が表示されます。検査を実施するには、「全ての検査をバックグラウンドで実行」ボタンをクリックします。

論理検査

プロジェクトID	1
プロジェクト名	A市

検査No.	品質要素	品質適用範囲	検査回数	検査日時	検査結果	検査結果内容	検査備考
C01	完全性・過剰	データ製品に含まれる全てのインスタンスについて、gm:lidの値が同じインスタンスの数をエラーとして数えます。					
C02	完全性・過剰/漏れ	都市モデルに含まれるインスタンス数を地物型ごとに数えます。					
L04	論理一貫性・定義域一貫性	地物属性の値とコードリストのコード値との比較を行い、地物属性の値が、コード値と合致しない箇所を数えます。					
L05	論理一貫性・定義域一貫性	srsNameにより指定された空間座標参照系のURIが、製品仕様書に示された二つのURIのいずれとも合致しない箇所を数えます。					

		インフラストラクチャに在した場合に、エラーとしてその数を数えます。					
L-bldg-04	論理一貫性・概念一貫性	全ての bldg:Building インスタンスについて、属性 uro:majorUsage2をもつインスタンスを抽出し、属性 uro:majorUsageをもたない場合にエラーとし、その数を数えます。					
L-bldg-05	論理一貫性・概念一貫性	全ての建築物インスタンスについて、属性 uro:detailedUsage2または uro:detailedUsage3をもつインスタンスを抽出し、属性 uro:detailedUsage2をもつインスタンスは属性 uro:detailedUsageを、属性 uro:detailedUsage3をもつインスタンスは属性 uro:detailedUsage2を、それぞれもたない場合にエラーとし、その数を数えます。					

全ての検査をバックグラウンドで実行

プロジェクト一覧に戻る

「論理検査の実行（バックグラウンド処理）」画面が表示され、バックグラウンド処理にて実行されます。「検査一覧に戻る」ボタンをクリックして、検査一覧画面に戻ります。

論理検査の実行（バックグラウンド処理）

1件登録しました。

検査一覧に戻る

プロジェクト一覧に戻る

負荷が大きい処理はキューで待機となる場合がありますが、バックグラウンド処理一覧から状況を確認することができます。

上記画面の「検査一覧に戻る」をクリックすると論理検査画面に戻り、「検査 No.」ごとに「検査回数」や「検査日時」、「検査結果」、「検査結果内容」などが表示されます。データセットにエラーがある場合は、「検査結果」にエラーの数が表示され、「検査結果内容」にエラーの内容が表示されます。検査結果内容の対処方法については、【資料】をご参考ください。

論理検査

プロジェクトID	1
プロジェクト名	A市

検査No.	品質要素	品質適用範囲	検査回数	検査日時	検査結果	検査結果内容	検査備考
C01	完全性・遠刺	データ製品に含まれる全てのインスタンスについて、gml:idの値が同じインスタンスの数をエラーとして数えます。	2	2020-12-03 01:20:15	0		■建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について、2ファイルを検査対象にしました。
C02	完全性・遠刺/漏れ	都市モデルに含まれるインスタンス数を地物型ごとに数えます。	2	2020-12-03 01:20:15	0	■地物型ごとのインスタンス数は次のとおりです。 参照データに含まれるデータ数とインスタンス数の差を計算し、その絶対値の和をエラーの数としてください。 ・建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面=2445	■建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について、2ファイルを検査対象にしました。
L04	論理一貫性・定義域一貫性	地物属性の値とコードリストのコード値との比較を行い、地物属性の値が、コード値と合致しない箇所を数えます。	2	2020-12-03 01:20:15	0		■建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について、2ファイルを検査対象にしました。
L05	論理一貫性・定義域一貫性	srsNameにより指定された空間座標参照系のURIが、製品仕様書に示された二つのURIのいずれとも合致しない箇所を数えます。	2	2020-12-03 01:20:15	1	■建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について空間座標参照系のURIが、製品仕様書に示された二つのURIのいずれとも合致しない箇所がありました。空間座標参照系を製品仕様書に示されたURIと一致するように見直してください。 ・503054743_bldg_6697.gml 行=5、タグの場所 =/*gml:boundedBy/gml:Envelope、空間座標参照系 =http://www.opengis.net/def/crs/EPSSG/0/4612	■建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について、2ファイルを検査対象にしました。

【資料】検査結果内容について

論理検査のエラーの概要、画面表示内容、対処方法を下表に提示します。ご参考ください。

検査 No.	画面表示内容（例）	エラーの概要	対処方法
C01	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>・ 503054743_bldg_4612.xml</p> <p>gml:id の重複が見つかりました。gml:id に重複がないように修正してください。</p> <p>行=32、タグの場所=/*/*[3]/bldg:Building/bldg:lod1Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember[2]/gml:Polygon/@gml:id、対象の gml:id=1</p>	gml:id が重複していることを示しています。例ではファイルの 32 行目に記載している gml:id=1 が他の要素にも設定していることを示しています。	重複している gml:id をユニークな値に見直してください。
C02	<p>■地物型ごとのインスタンス数は次のとおりです。</p> <p>参照データに含まれるデータ数とインスタンス数の差を計算し、その絶対値の和をエラーの数としてください。</p> <p>・ 建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面=5</p> <p>・ 道路=1</p> <p>・ 都市計画区域、区域区分、地域地区=3</p>	C02 に表示される内容はエラーではなく、インスタンス数です。	参照データ（原典資料）に含まれるデータ数とインスタンス数に差がないことを確認してください。
L04	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>・ 53394507_bldg_6697.gml</p> <p>コードリストが見つかりません。コードリストのパス、ファイル名等を見直してください。</p>	指定のコードリストが見つからないことを示しています。	指定している場所にコードリストを用意するか、指定しているコードリストの URI を見直してください。

		行=18、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:class/@codeSpace、対象のコードリスト=../codelists/Building_class.xml		
	L04	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>・ 53394507_bldg_6697.gml</p> <p>地物属性の値と合致するコードが見つかりません。値、またはコードを見直してください。</p> <p>行=18、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:class/@codeSpace、地物属性の値=3001</p>	指定のコードリストの中に地物属性の値と合致するコードが見つかりません。例ではファイルの18行目の地物属性の値3001がcodeSpaceで指定しているリストにないことを示しています。	コードリストの中にコードを設定するか、地物属性の値について、コードリストに記載しているコードに見直してください。
	L05	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>空間座標参照系のURIが、製品仕様書に示された二つのURIのいずれとも合致しない箇所がありました。空間座標参照系を製品仕様書に示されたURIと一致するように見直してください。</p> <p>・ 503054743_bldg_4612.xml</p> <p>行=6、タグの場所=/*/gml:boundedBy/gml:Envelope、空間座標参照系=WGS84</p>	空間座標参照系のURIが、製品仕様書に示された二つのURIのいずれにも合致しないことを示しています。	空間座標参照系のURIを製品仕様書に示されたURIと一致するように見直してください。
	L06	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>boundedByにより指定された、緯度、経度及び標高の下限值及び上限値を超える座標値がありました。座標値の修正、またはboundedByによる緯度、経度及び標高の下限值、上限値を見直してください。</p>	boundedByにより指定された、緯度、経度及び標高の下限值及び上限値を超える座標値があることを示しています。例ではファイルの35行目の座標	座標値の修正、またはboundedByによる緯度、経度及び標高の下限值、上限値を見直してください。

		<p>・ 503054743_bldg_4612.xml</p> <p>行=35、タグの場所=/*/[*3]/bldg:Building/bldg:lod1Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember[2]/gml:Polygon/gml:exterior/gml:LinearRing/gml:pos[3]、座標値の比較=0 は boundedBy の下限値 4 より大きくないといけません。</p>	<p>値に 0 があり、boundedBy の下限値 4 より小さいことを示しています。</p>	
	T03	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <p>・ 53394507_bldg_6697.gml</p> <p>行=249、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:lod2Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember[1]/@xlink:href、確認事項=ID 参照された gml:id(s_cb3d5bc9_p)をもつインスタンスが見つかりません。ID 参照された gml:id を持つインスタンスを設定してください。</p>	<p>ID 参照された gml:id をもつインスタンスが見つからないことを示しています。</p>	<p>ID 参照された gml:id を持つインスタンスを設定してください。</p>
	T03	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <p>・ 53394507_bldg_6697.gml</p> <p>行=250、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:lod2Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember[2]/@xlink:href、確認事項=ID 参照された gml:id(s_2ea378f0_p)をもつインスタンスが複数見つかりました。ID 参照された gml:id を持つインスタンスを 1 つ</p>	<p>ID 参照された gml:id をもつインスタンスが複数見つかったことを示しています。</p>	<p>ID 参照された gml:id を持つインスタンスを 1 つにしてください。</p>

		にしてください。		
	T03	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>行=249、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:lod2Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember/@xlink:href、確認事項=インスタンスの型（gml:surfaceMenber）は扱えません。インスタンスの型を見直してください。</p> <p>行=249、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:lod2Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember/@xlink:href、確認事項=インスタンスの型（gml:surfaceMenber）から（gml:Polygon）は参照できません。インスタンスの型を見直してください。</p>	登録されていないインスタンスの型を使用していることを示しています。	インスタンスの型を見直してください。
	T03	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>行=249、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[1]/bldg:Building/bldg:lod2Solid/gml:Solid/gml:exterior/gml:CompositeSurface/gml:surfaceMember[1]/@xlink:href、確認事項=インスタンスの型（gml:surfaceMember）から（gml:exterior）は参照できません。インスタンスの型を見直してください。</p>	インスタンスの型から参照できないインスタンスを参照していることを示しています。	参照元、または参照先のインスタンスの型を見直してください。

T-bldg-02	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>行=2764、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[3]/bldg:Building/bldg:outerBuildingInstallation/bldg:BuildingInstallation/bldg:lod2Geometry/gml:Surface、確認事項=bldg:lod2Geometryにより保持する幾何オブジェクトの型が指定値ではありません。幾何オブジェクトの型を見直してください。</p>	bldg:lod2Geometryにより保持する幾何オブジェクトの型が指定されている型ではないことを示しています。	幾何オブジェクトの型を見直してください。
T-bldg-02	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>行=2764、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[3]/bldg:Building/bldg:outerBuildingInstallation/bldg:BuildingInstallation/bldg:lod3Geometry/gml:Surface、確認事項=bldg:lod3Geometryにより保持する幾何オブジェクトの型が指定値ではありません。幾何オブジェクトの型を見直してください。</p>	bldg:lod3Geometryにより保持する幾何オブジェクトの型が指定されている型ではないことを示しています。	幾何オブジェクトの型を見直してください。
C-bldg-01	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>行=170、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[4]/bldg:Building[1]/uro:buildingIDAttribute/uro:Building</p>	uro:branchIDを持たないインスタンスが複数存在する事を示しています。	インスタンスの構成を見直してください。

		<p>IDAttribute/uro:BuildingIDAttribute、確認事項=複数ある同一のuro:buildingIDをもつインスタンスの内、uro:branchIDを持たないインスタンスが複数存在します。</p>		
	C-bldg-01	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>行=170、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[4]/bldg:Building[1]/uro:buildingIDAttribute/uro:BuildingIDAttribute/uro:BuildingIDAttribute、確認事項=複数ある同一のuro:buildingIDをもつインスタンスの内、uro:partIDを持たないインスタンスが複数存在します。</p>	<p>uro:partIDを持たないインスタンスが複数存在する事を示しています。</p>	<p>インスタンスの構成を見直してください。</p>
	L-bldg-04	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507_bldg_6697.gml <p>属性uro:majorUsage2をもつインスタンスの内、属性uro:majorUsageを持たないインスタンスが存在します。階層構造を見直してください。</p> <p>行=309、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[5]/bldg:Building[2]/uro:buildingDetailAttribute/uro:BuildingDetailAttribute/uro:majorUsage2</p>	<p>uro:majorUsage2を持つが、uro:majorUsageを持たないインスタンスが存在する事を示しています。</p>	<p>インスタンスの構成を見直してください。</p>

	L-bldg-05	<p>■建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面について</p> <p>次の確認事項が見つかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 53394507bldg6697.gml <p>属性uro:detailUsage2をもつインスタンスの内、属性uro:detailUsageを持たないインスタンスが存在します。階層構造を見直してください。</p> <p>行=264、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[5]/bldg:Building[1]/uro:buildingDetailAttribute/uro:BuildingDetailAttribute/uro:detailUsage2</p> <p>属性uro:detailUsage3をもつインスタンスの内、属性uro:detailUsage2を持たないインスタンスが存在します。階層構造を見直してください。</p> <p>行=310、タグの場所=/core:CityModel/core:cityObjectMember[5]/bldg:Building[2]/uro:buildingDetailAttribute/uro:BuildingDetailAttribute/uro:detailUsage3</p>	<p>uro:detailUsage2を持つが、uro:detailUsageを持たないインスタンス、もしくはuro:detailUsage3を持つが、uro:detailUsageを持たないインスタンスが存在する事を示しています。</p>	<p>インスタンスの構成を見直してください。</p>
--	-----------	---	--	----------------------------